

学校評価アンケートの結果

■表は、令和7年度7月実施分と令和7年度12月実施分の比較になっています。
 *表中の数値は、各質問に対する肯定的回答の割合を示しています。肯定的回答は、「そう思う」と「だいたいそう思う」を合わせたものです。()内の数値は、「そう思う」と回答した児童・保護者の割合です。
 *数字の単位は全て(%)です。

全校児童	R7/7月	R7/12月	保護者	R6/7月	R7/12月
①学校は楽しい	97(87)	99(84)	①お子さんは学校が楽しいと言っている	98(65)	99(71)
②授業は分かりやすい	100(80)	98(75)	②お子さんは授業が分かりやすいと言っている	98(49)	98(51)
③自分の思いを自分の言葉で伝えている	90(54)	91(54)	③お子さんは自分の思いを自分の言葉で伝えている	82(27)	89(28)
④家庭学習にきちんと取り組んでいる	88(61)	91(57)	④お子さんは家庭学習にきちんと取り組んでいる	80(24)	74(35)
⑤進んで読書に取り組んでいる	74(50)	74(42)	⑤お子さんは進んで読書に取り組んでいる	33(14)	38(16)
⑥笑顔でいさつ毎日プラスワンができる	87(45)	91(53)	⑥お子さんは進んで気持ちのよいいさつをしている	83(36)	85(34)
⑦運動や外遊びをしている	89(72)	94(72)	⑦学校は運動量や体力向上を意識した取組を行っている	90(37)	92(39)
⑧先生は自分の良さを認めてくれている	99(84)	100(82)	⑧教職員はお子さんの良さを認め、力を伸ばそうとしている	94(45)	93(48)
⑨学校には、いじめがない	90(67)	86(55)	⑨学校はいじめの防止に向けた取組を行っている	90(27)	93(35)
⑩規則正しい生活をしている	87(58)	94(58)	⑩お子さんは規則正しい生活をしている	88(28)	90(28)
⑪メディアについての約束を守る努力をしている	90(58)	87(57)	⑪家族でメディアについての約束を守る努力をしている	72(22)	78(20)
⑫学校、家、地域の人が成長を支えてくれていると感じている	99(86)	98(85)	⑫学校は家庭や地域とのつながりを深めながら子供たちの成長を支えている	99(47)	100(45)
⑬地域の人とかかわって学ぶことができている	100(85)	99(81)	⑬学校は地域の資源を生かしながら特色ある教育を進めている	97(44)	100(44)
⑭学校や地域の良いところを言うことができる	97(69)	94(70)	⑭学校やふるさと三隅の良さを知っている	89(29)	92(36)
⑮自分の良いところを言うことができる	92(77)	94(73)	⑮お子さんは自分の良さを知っている	91(24)	95(28)

■まず、「①学校は楽しい」の質問に対して、児童の肯定的な回答が7月97%→12月99%、保護者の肯定的回答が98%→99%と推移したことを素直に喜びたいと思います。数値の良さに慢心することなく、楽しい学校づくりについては、職員全体で努力を続けていきます。■「②授業は分かりやすい」の質問に対して児童の肯定的な回答は、100%→98%。保護者の肯定的回答は、98%→98%でした。同様に「⑬地域の人とかかわって学ぶことができている」児童の肯定的な回答は、100%→99%。保護者の肯定的回答は、97%→100%でした。どちらも肯定的回答の割合が高く、授業改善の取組や地域とともにつくる教育課程の編成について成果を上げることができているのではないかと思っています。■しかし、「④家庭学習」「⑥あいさつ」については、保護者の皆さんの肯定的な回答の割合が、学校側の期待値よりも低いうえ、特に「④家庭学習」については、数値の下降が気になります。さらなる取組の工夫と努力の必要性を感じています。■また、「⑪メディアの約束を守る努力」については、保護者回答数値に改善傾向が見られるものの、その数値の低さが気になります。さらに、「⑤読書」については、児童、保護者ともに肯定的な回答の割合が、他のどの質問項目の数値よりも低くなっています。これらの項目については、これまでも同じ傾向が見られ、策を講じてきているのですが、なかなか成果を上げることができていません。これまでの取組の分析・見直しと、さらなる工夫・改善の努力が必要です。ただこの部分に関しては、学校と家庭の連携の積み重ねも不可欠だと考えていますので、ご理解とご協力をよろしくお願ひします。■最後に児童質問「⑨学校にはいじめがない」に関する回答について述べます。いじめについては、毎回、否定的な回答をした児童の割合に注目しなければならないと思っています。12月は14%の子供たちが「学校にはいじめがない」という問い合わせに対して「あまり思わない」と回答しており、その割合は7月に比べて増加しています。ここでの数値に関しては限りなく0(ゼロ)%に近づいていくよう、取組の工夫と努力を積み重ねていきます。■明倫小学校ではアンケート結果を真摯に受け止め、家庭や地域の力もお借りしながら、チーム明倫で子供たちを良き方向に導き、その成長を支える取組の工夫・改善に努めています。ご協力、ありがとうございました。

キラリツ☆明倫つ子!!

★今回掲載するのは、1月のスナップです。



①始業式でのがんばりたいことの発表

②3・4年生の体育館での書き初め

③6年生、総合的な学習の時間の授業風景